

① 塾に通う前の問題点やご要望は何でしたか

「東工大附属に行きたい」という本人の希望を受けて、入塾を決めました。しかし、入塾時の偏差値はなんと数学「38」。東工大附属の合格偏差値「72」には、遠く及ばないところからのスタートでした。すでに中学 2 年生の 11 月でしたので、内申点を上げるとともに、東工大附属の合格に向けた受験対策を始めることが喫緊の課題でした。

② 塾に通う前と後ではお子さまの何が変わられましたか

初めてフレンズアップで山根先生の授業を受けた日、「楽しかった！」と言って帰ってきました。常に真剣に向き合ってください山根先生との出会いから、勉強の楽しさを感じられたことが、合格までの原動力になったことは間違いありません。また息子は、もともと優しく素直なパーソナリティを備えている一方、競争心がなく、何事も無難なところに自分を落ち着けがちなところがありました。入試まで 1 ヶ月を切った段階で、過去問を解いても合格点に届かない状態であるにも関わらず、のんびり過ごしている様子にヒヤヒヤしていましたが、その都度先生方に粘り強くお話をしていただいたことで、「全力を出せる自分」の姿に生まれて初めて気づけたのではないかと思います。

③ フレンズアップと他塾さんとの違いは何だと思いますか

先生方と子どもの心理的距離がとても近く、子どものパーソナリティを尊重しながら、常に真剣に向き合ってくださいところです。その子に合ったやる気の引き出し方が何であるのかを、いつも考えてくださっていると感じました。さらに、それが受験前の一時的な効果ではなく、今後の長い人生において必要となる「夢を叶えるための自分の在り方」を、気づかせてくれる接し方だと思いました。受験を通して、子どもも親も多くの成長があったと思います。これは、マンモス塾の大人数授業では享受できないことだと感じています。

また、東工大附属の受験対策のため、適切なタイミングで勉強を 3 科目に絞り、過去問を徹底的に分析していただいた対策授業を、個別に行っていただきました。その際、「3 科目に絞ったら、もう都立を受けるのは難しい」と正直に言っていただき、親としてもかなりの思い切りが必要でしたが、この選択がなければ、東工大附属の合格はあり得なかったと思います。

④ 各担当の先生方に一言お願いします

山根先生…いつまでもエンジンのかからない総一郎に、常に真剣に向き合ってください、ありがとうございました。総一郎にとって山根先生は、「塾の先生」という存在をはるかに超えた、「自分の人生を変えてくれた恩師」です。この出会いが、一生の宝物になるはずです。本当にありがとうございました。

文系担当の先生…入塾時、最も英語が苦手だった総一郎に、「2 年生の段階で英語が苦手ではなくなり、3 年生では得意科目になっている」と言い切ってくださいましたが、そのまま現実になりました。喜びと驚きでいっぱいです。特に、中 2 の 2 学期末で 59 点だった英語が、3 学期末には 90 点と、一気に 31 点も伸びたときの嬉しさは今でも忘れられません。良い状態で中 3 の受験シーズンに突入できたことが、合格につながったのだと思います。国語も、まさか最後に「5」が取れるとは、正直思いませんでした。最後まで粘り強く支えてくださり、本当にありがとうございました。